

## 平成28年第8回花巻市教育委員会議（定例会）議事録

### 1. 開催日時

開会 平成28年7月28日（木） 午前10時00分

閉会 平成28年7月28日（木） 午前11時03分

### 2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3-2、3-3会議室

### 3. 出席委員（5名）

委員 照井 善耕（委員長）

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 伊藤 明子

委員 佐藤 勝（教育長）

### 4. 説明のため出席した職員

教育部長 市村 律

教育企画課施設管理監 川村 晃

小中学校課長 沼田 弘二

こども課長 高橋 靖

文化財課長補佐 小原 美知子

### 5. 書記

教育企画課 課長補佐 佐々木英智 係長 小原正吾

上席主任 佐々木晶子（書記）

○照井善耕委員長 おはようございます。只今から、平成28年第8回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。会議の日時、平成28年7月28日、午前10時、会議の場所、石鳥谷総合支所3-2、3-3会議室。日程第1、会期の決定であります。本日一日とすることにご異議ありませんか。異議なしと認め、本日一日と決定いたします。

日程第2、報告事項に入ります。事務局から報告をお願いします。市村教育部長。

○市村律教育部長 平成28年6月市議会定例会の教育関係事項についてご報告いたします。資料No.1をご覧くださいと思います。大迫中学校校舎棟改築（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてご報告いたします。本件につきまして、選定方法は指名競争入札でありまして、契約金額は6億480万円であります。契約の相手方は藤正建設（株）・（株）佐賀建設特定建設工事共同企業体であります。この工事につきま

しては市営建設工事入札参加資格業者12社を仮指名した後に、共同企業体の申請を受け付けまして、4つの共同企業体を指名いたしました。去る6月14日に入札を行い、6月17日に仮契約を締結したうえで議会にお諮りしたものでございます。

工事の概要につきましては、配置図をご覧くださいと思います。建設場所は既存のグラウンド北側の敷地に建設するものであります。建物は鉄筋コンクリート造一部木造2階建て、延床面積は2,601.34㎡、そのうち木造部分の延床面積は204.57㎡でございます。施設の概要につきましては、平面図と立面図をご覧くださいと思います。内部の配置計画でありますけれども、1階に音楽室、家庭科室、図書室とコンピュータ室を一体化したメディアセンターがありまして、北側には美術室、技術室を設けますし、音楽室の向かいには音楽室と一体化して集会や学習発表の場として活用できる生徒ホールを配置しております。この生徒ホールが木造で建てられる部分でございます。2階には職員室、校長室など管理室や普通教室、理科室、保健室などを設ける配置になっているところでございます。完成期限でありますけれども平成29年7月31日となっております。

大迫中学校の整備の全体のスケジュールでございますけれども、現時点の予定は、平成29年度に校舎と屋内運動場を解体いたしまして、平成30年度から翌31年度にかけて屋内運動場の建築、それから駐車場、外構、屋外環境の整備、周辺道路、水路の工事を行って、概ね平成31年度で学校本体の整備は完了する予定になっております。平成32年度に周辺の道路の舗装の部分がありますけれども本体は31年度に完了するというので今後事業を進めていく予定になっております。以上で報告を終わります。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。何かご質問等ございませんでしょうか。役重委員。

○役重眞喜子委員 差し支えなければ落札率がどうだったのかということと、あとは子供達が校舎に引っ越すのはいつになるのでしょうか。

○市村律教育部長 入札残は機械や電気も含めて全体で1億円ぐらいですが落札率は後ほどお答えいたします。あと、引越時期は来年の夏休みです。

○役重眞喜子委員 7月31日に出来て夏休みのうちに引っ越すということですね。

○照井善耕委員長 他にございませんでしょうか。伊藤委員。

○伊藤明子委員 もう決定していることですし、こんな質問はおかしいかもしれないのですが、将来的には大迫中学校の生徒数はどのようになるのでしょうか。増えるものなのでしょうか。

○市村律教育部長 生徒は少なくなっていくます。

○伊藤明子委員 少なくなるということですか。そういうことを設定した設計なのでしょうか。

○市村律教育部長 教室の数も1学年1学級というのは将来的にも続くだろうと。

○川村晃教育企画課施設管理監 来年、再来年ぐらいに一時的に1クラス増える時期があります。

○市村律教育部長 その先は1学年1学級というのがわかっていますので。普通教室の数は3つということで整備することになります。

○伊藤明子委員 将来を見越しての大きさかお聞きしたかったところです。ありがとうございます。

○照井善耕委員長 何か改築にあたっての目玉というか、特徴的なことはありますか。

○市村律教育部長 特徴的な部分は、やはり生徒ホールです。今の学校にも生徒が一同に会して給食をとれる生徒ホールがあるのですが、今回も学校側や地域からも生徒ホールは残してほしいとありまして、多目的スペースと認められるものをそこに集約いたしました。更にそこにはご要望のあった木造づくりを取り入れる形で対応しました。

○伊藤明子委員 何かの時は地域の方も利用できるということですね。

○市村律教育部長 そうですね。

○佐藤勝教育長 生徒ホールは色んな活用ができる。ここで集会も出来るし、コンサートや神楽も出来る。そして腰板に使う木は全部ではないですけれどもかつての内川目の学校林の木を使うということです。そういった循環型も一つの売りだと思いますね。

○中村弘樹委員 グラウンドも改修になるんですね。

○市村律教育部長 そうです。屋外環境整備は最後の方にやることとなっております。新しく校舎を建てる場所が現状ではグラウンドの一部になっているので、野球のグラウンドを南側に下げています。

○中村弘樹委員 というのは、石鳥谷中学校は新しい割にグラウンドの水はけが悪いし、木屑も入っていると聞いていますので、そこら辺も考慮して良いものにしていただきたいと思います。

○市村律教育部長 チップの舗装をしたと思うのですが、石鳥谷中学校のグラウンドは他の学校と比べて敷地が広すぎます。勾配で排水をするにしてもあまりにも広すぎるので側溝まで行けないという事情があります。大迫の校庭だとそれなりの広さですので暗渠をいれて周りに側溝を入れればそのようにはならないかと。

○佐藤勝教育長 あの場所は国体の山岳競技の開会式の会場でありまして、自衛隊で増設したところなんです。つまり山だったので、今校舎があるところを押して、段をつけてまた押してということで簡単な暗渠は入ったと思うのですが、石中のトラックとは違います。

生徒数が少なくなるということもありますけれども、前は直線で100mを取れなかったものが今度は斜めで100mはとれるようになりますし、校舎で空いた部分でいろんな活用ができるということです。

○市村律教育部長 先ほどの校舎の工事の落札率ですが86.23%です。

○照井善耕委員長 今の校舎を解体するときの予算というのは更にまた別ですか。

○市村律教育部長 解体工事は別です。

○照井善耕委員長 解体はいつ終わるのですか。

○市村律教育部長 校舎が出来て引越が終わればすぐ取り壊しに入ります。そのときには屋内運動場も一緒に取り壊すこととなります。

○照井善耕委員長 わかりました。

○佐藤勝教育長 そのあと、しばらく体育館を使えない時期があるのですが、大迫体育館がありますので。

○照井善耕委員長 もう1回確認したいのですが、音楽室と生徒ホールの中の廊下の壁は取り払いができるということですか。

○市村律教育部長 可動式になっています。

○照井善耕委員長 可動式で一体にということですね。売りのある校舎ができるということですね。

○市村律教育部長 生徒ホールが吹き抜けになっていますので、2階の廊下から生徒ホールの様子を見ることができます。

○役重眞喜子委員 出入りは職員室付近の入口からですか。

○市村律教育部長 正式な昇降口は屋内運動場と一体で作られる形になりますので、正式な昇降口ができるまでは、暫定的なものとして1階テラスの仮設昇降口から子ども達に入ってもらおう形になります。

○役重眞喜子委員 いずれにしても出入りは職員室からは見えない部分ですね。仮設も本設も。

○市村律教育部長 適宜カメラを設置することとなります。

○役重眞喜子委員 何が入ってくるか分からないですからね。

○市村律教育部長 安全祈願祭ですが8月19日、金曜日の午後2時を予定しておりました。

○照井善耕委員長 大迫中学校の関係について他にございませんでしょうか。なければこの件については終わります。

次の報告事項についてお願いいたします。高橋こども課長。

○高橋靖こども課長 花巻市立保育所移管先法人の決定についてご説明させていただきます。資料No.2をご覧くださいと思います。予て経過状況等ご報告をしております花巻市公立保育園再編第1期実施計画の中で平成29年4月から民営化に移行することで進めていた公立保育園3園の民営化の事業者について先般決定しましたのでご報告をさせていただきます。

第1期実施計画におきまして対象としておりますのは日居城野保育園、南城保育園、湯本保育園でございました。この3園について6月17日から7月7日までの期間で移管先の応募を受け付けしたところでございます。その結果、日居城野保育園につきましては1件、南城保育園につきましては2件、それから、湯本保育園につきましては1件の応募がございました。その後、選定委員会の選定を経まして法人を選定したところです。

日居城野保育園につきましては社会福祉法人松園福祉会に決定となってございます。南城保育園につきましては学校法人豊水久田野学園に決定になってございます。湯本保育園については学校法人湯本学園に決定になってございます。

それぞれの選定理由になりますが、日居城野保育園に決定となりました社会福祉法人松園福祉会におきましては、同種の事業として松園保育園という保育園を経営している法人でございますが、そちらの財務状況が安定しておりまして今後も健全な運営が見込まれるという部分でございます。その他にも高齢者事業を展開して社会福祉事業の実践を重ねていること、それから、現在の保育園の活動状況も積極的に行っていることが評価されまして、今後の開かれた園運営が期待できるというところでございます。移管後の運営といた

しましては、現在の公立園の保育内容を継承していく意思がございます。それから、保護者会との意見交換につきましても積極的に対応していく姿勢を示しております、今後も適切な保育の実施が期待できるというところでございます。

南城保育園に決定となりました学校法人豊水久田野学園でございますが、こちらは現在、花巻みなみ幼稚園、たかき幼稚園、たかき保育園という3園を運営している法人になります。こちらでも財務状況が安定しております、今後も健全な運営が見込まれるという点でございます。そして、幼稚園あるいは保育園という幼児教育に関する事業を展開していることから、現在の保育方針も公立園の保育方針と非常に考え方が似ていることからスムーズな移管が期待できるということが評価をされたところです。それから、現在の幼稚園児保育や地域活動への取り組みを移管後も実施をすることが期待できるということで、現在の実績を生かした保育内容の充実が期待できるという点が評価されたところです。

湯本保育園に決定になりました学校法人湯本学園につきましては、現在、ゆもと幼稚園を運営している法人になります。こちらの選定理由もやはり現在の園運営につきまして財務状況が安定しており、健全な運営が今後も見込まれるという点でございます。そして、現在も地域ぐるみで園の運営をしております、今後もそういった考え方で運営をしていく方針を示していることから、今後、開かれた園運営が期待できるという点でございます。それから、湯本保育園の保育内容を継承していくという意味が確認されてございますし、保護者会との意見交換会についても積極的に対応していくという姿勢を示していることから適切な保育の実施が期待できるということで選定をしたところでございます。

なお、今後のスケジュールですが、来年度4月開始の民営化に向けまして、まずは移管先法人、それから現在の対象保育園の入所児童の保護者の方、そして当市によります3者協議の場を来月早々に設置をいたしまして円滑な移行を行うための協議を進めながら10月から引継保育を開始する予定です。

併せて配布いたしました、参考資料1、参考資料2につきましてはそれぞれ選定経過、選定に関しました委員会での委員の構成等ということになります。それから、選定委員会におきます3法人の評価結果を掲載してございます。この評価の根拠となります選定要領を参考資料ということをつけておりますので併せてご覧いただければと思います。移管先法人の決定につきましてのご報告を終わらせていただきます。

○照井善耕委員長 只今、説明を受けましたが何かご質問等ございませんでしょうか。役重委員。

○役重眞喜子委員 質問ですが、南城と湯本に関してはそれぞれ幼稚園を経営されている法人が受託するというので、法人さんの考え方でしょうけれども、制度としては今後、幼保一元化とか認定こども園とか、そういうところについてどのように考えているのか、あるいは市としてそのあたりをどのようにお話しするのかということも含めてお願いします。

○高橋靖こども課長 南城保育園の移管先として選定されました豊水久田野学園に関しま

しては、今回の民営化ではなく現行の幼稚園、保育園という部分で将来的に認定こども園化ということを考えに入れていたと伺っている状況です。それから湯本学園ですが、こちらは幼稚園単体の運営ということで、まだ認定こども園の運営までは想定の中にはないと伺っております。まずは保育園の運営を通して安定的な運営を目指したいと考えていることを伺っております。

○役重眞喜子委員 両所さんとも幼稚園の定員は満たしているのですか。

○高橋靖こども課長 満たしていません。

○役重眞喜子委員 民営化とか幼保一元化の目指すものの中に幼稚園はなかなか定員が満たせないし、保育園も花巻市は待機児童がそんなにないですが、今後、0歳児とか増えてくるときに、一元化して融通する中で空き定員を生かして保育を満たせるようにしようという考え方があると思うのですが、そこに向かっていくのに何がハードルなのかなどいつも不思議なんですけれども、やはり財政的な支援ということなんですかね。施設基準も違うでしょうから。

○高橋靖こども課長 財政的支援というよりは、施設基準、施設規模といったところで少しネックになっている部分はあるようです。

○佐藤勝教育長 認定こども園について新しい子ども子育て計画の時には保育園、幼稚園さんにご説明をしてご案内もしたのですが、国の制度が、例えば園長の報酬の部分とか不確定であるとか、マネジメントとして煩雑だということもネックのようです。ただ、今回、豊水久田野学園で認定こども園化を目指すと明言していますし、豊水さんが始めれば続いていくところもあるんだろうと思います。

○照井善耕委員長 参考までに、南城保育園は2件の応募があったというけれども、豊水さんと他のところの差は大きかったのですか。

○高橋靖こども課長 それほど大きくはないです。今回の選定におきますルールということで参考資料として選定要領を配布しているのですが、第5の第1項で、応募が1法人のみであっても評価点数が満点に対して2分の1をとれなければ選定外というもののルール化をしております。

今回、南城保育園に応募のあった2法人についてはこの基準は完全に上回った点数でして、結果的には豊水さんの方が点数が高かったということです。

○照井善耕委員長 参考資料1の評価結果ですが、満点が3,680点の中でもうちょっと全体的に高くなるのかと思ったのですが、1,000点ぐらい余している。今回の評価を受けて何か力を入れていかなければならない部分というのはあるのですか。

○高橋靖こども課長 審査ではそれぞれの法人さんの保育方針と引き継ぎにあたっての考え方、それから保護者会との関係について重点的に聞き取りを行いました。審査員さんが直接、法人さんから説明を受ける場を設けて、それに対する質疑応答も行ったのですが、その件に関する質問が多く出たところでありまして、それを受けての評価ということでありました。

○照井善耕委員長 決定するための評価だったとは思いますが、これからの運営に生かされるような形であればいいなと思います。

○伊藤明子委員 100分の50というのは低く設定している訳ではないんですね。

○高橋靖こども課長 もう少しハードルを高くという意味ですね。今回につきましては応募を市内で現在、保育園幼稚園を運営している法人に限定しております。その中でも過去5年の中で、事故やトラブルがあるところは除外することも付けております。従いましてある意味クローズした募集内容でございましたので基本的な部分はクリアできていると考えたところでした。ですので、ハードルを高くするよりもこの基準の中で標準的なところをとれば評価とすれば運営に間違いはないだろうという判断で100分の50としたところですよ。

○照井善耕委員長 他に質問等ございませんでしょうか。この件についてよろしいでしょうか。それでは、この件についての質疑は終了いたします。

次の報告事項をお願いします。沼田小中学校課長。

○沼田弘二小中学校課長 平成28年度第63回岩手県中学校総合体育大会の結果についてご報告いたします。資料No.3をご覧くださいと思います。先般行われました、岩手県中学校総合体育大会結果一覧ということで、花巻市中学校体育連盟から資料提供いただいたものです。これを基に、東北大会あるいは全国大会出場を中心に結果をお話したいと思います。

陸上競技男子ですけれども、1年100m、共通200m、共通走高跳、低学年400mリレーが2チーム、共通400mリレーの延べ6種目で東北大会出場を決めております。

陸上競技女子ですけれども、3年100mが2名、あとは、2年100m、共通200m、共通走高跳、共通400mリレーということでこれも延べ6種目で東北大会出場、このうち共通400mリレーの石鳥谷中学校は全国大会出場も決めております。

水泳競技男子は、200m自由形、400m自由形2名、1500m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、400mリレー、400mメドレーリレーということで、延べ10種目で東北大会への出場を決めております。

体操競技は、女子個人の2名が東北大会出場になっております。

ソフトボール女子は西南中学校が2位で東北大会へ出場です。



ハンドボール女子は花巻中学校が1位で東北大会へ出場です。

バスケットボール男子は石鳥谷中学校が1位で東北大会に出場します。

バレーボール男子は宮野目中学校が2位で東北大会出場です。

ソフトテニス男子ですが、個人で湯本中学校のペアが3位で東北大会出場です。

ソフトテニス女子は同じく湯本中学校のペアがベスト8入賞で東北大会出場です。

バドミントン男子、団体では矢沢中学校1位、東和中学校3位で東北大会出場です。また、個人シングルスでは矢沢中学校1位、石鳥谷中学校3位で東北大会出場です。個人ダブルスも矢沢中学校のペアが2位で東北大会出場となっております。

バドミントン女子は、団体で湯口中学校1位、南城中学校3位で東北大会出場です。個人シングルスが南城中学校1位、湯口中学校3位で東北大会へ。個人ダブルスは湯口中学校のペアが1位で東北大会に進みます。

卓球男子団体は石鳥谷中学校が2位で東北大会に進みます。

卓球女子団体は花巻中学校が2位で東北大会に進みます。個人は花巻中学校の2名が、それぞれ6位、9位に入賞して東北大会に進みます。

続いて柔道ですけれども、男子個人60kg級で東和中学校の生徒が3位で東北大会出場します。

柔道女子団体は大迫中学校が1位で東北大会と同時に全国大会出場も決定しております。同じく柔道女子団体、東和中学校が2位で東北大会に出場です。柔道女子の個人44kg級で東和中学校が2位、個人52kg級で大迫中学校が1位、東和中学校が2位、個人63kg級で大迫中学校が1位、個人70kg級で東和中学校が1位でそれぞれ東北大会へ、また、1位の生徒につきましては全国大会出場も決定しております。

剣道女子団体は、南城中学校1位、花巻中学校2位、東和中学校3位がそれぞれ東北大会です。南城中学校につきましては全国大会が決定しております。個人ですが、花巻中の3名の選手と南城中1名の選手が東北大会出場を決めておりますし、南城中学校の1位の生徒と花巻中学校の2位の生徒が全国大会出場決定となっております。

以上、延べでカウントしますと59の種目で東北大会出場、8種目で全国大会出場となっております。また、出場が叶わなかったチーム、選手につきましても精一杯の力を発揮して、花巻のスポーツの力を発揮できた大会だったということをお知らせしたいと思います。以上、報告でございます。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。何か質問等ございますか。

○佐藤勝教育長 うれしいのは、東北大会に11校全部の学校が出場したことです。これは初めてだと思います。

○照井善耕委員長 集団の中に大きい大会を経験した人がいて、話題になると周りの意識も変わってくると思います。

私はバスケットの大会をみたけれど、以前と比べて監督のマナーが良くなって非常にいいと思ってみてきました。テレビでもコーチングの番組も結構出てきているし、いい傾向

だと思っていました。

○沼田弘二小中学校課長 マナーアップについては中体連でも指導をしていますし、選手はもとより観客も良くなっていると聞いています。

○照井善耕委員長 今は要綱の中にも父母向けに書いているんですね。保護者、家族もこういう機会に子ども達との会話の中でマナーは大事だという話が出れば良いと感じました。他にないでしょうか。なければ、この件については終わります。

次の報告事項をお願いします。市村教育部長。

○市村律教育部長 平成28年度岩手県への要望内容のうち、教育委員会関係の項目について資料No.4に沿って、ご報告いたします。

県への要望につきましては毎年度、市長と市議会議長の連名で県知事あてに要望書を提出しております。今回、教育委員会関係は31項目ある中で本日お配りした2つの項目を継続という形で要望させていただきました。7月25日に県南広域振興局の堀江局長に直接要望書をお渡しする形で行っております。

1点目が校舎の危険改築に係る財政措置の堅持についてであります。市内の公立学校施設で耐震化が完了していない学校は、湯口中学校と大迫中学校の2校を残す状況になっております。この2校は現在、改築は進めておりますけれども、全国の学校施設の耐震化率が98%と進んでいる状況を受けますと、今後、更に学校施設にかかる国の予算が縮小され、校舎の危険改築だけではなく、校舎と一体的な整備を行う必要がある施設について各自治体の負担が増す恐れがあります。このことから、今般、湯口中学校の危険改築に伴う屋外環境整備、それから大迫中学校の屋内体育館の改築事業に係る国の補助の事業採択について要請していただきたいというのが1点目の要望事項であります。

2点目の要望事項が、県立高等学校の再編についてであります。これにつきましては今年の3月に「新たな県立高等学校再編計画」が県教委において策定されまして、市内の県立高等学校のうち大迫高等学校、花巻南高等学校、花北青雲高等学校の3校が再編の対象として計画に載っております。このうち、大迫高等学校につきましては存続することが決まりましたけれども直近の入学者が2年連続して20人以下となった場合は原則として、翌年度から募集停止とする条件が示されましたし、花巻南高校については平成31年度に学系の見直し、花北青雲高等学校については平成32年度に学科改編を行うことによってそれぞれ1学級を減ずるという方針が示されたところでありますけれども、再編の対象とされた高等学校につきましても、今後、志願者数の動向等の状況変化が出た場合はそれらに柔軟に対応していただきたいということと、PTA、同窓会等の学校関係の皆さん、それから地域の意見等を十分に聞いていただきながら慎重に進めていただきたいということを要望したところでございます。

これらの要望については、例年9月以降に県から県の考えが改めて示されておりますので、まずはこういう要望を行ったということを報告させていただきます。以上でございます。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。何かご質問ございませんでしょうか。役重委員。

○役重眞喜子委員 1点目の要望事項なんですが、校舎が採択されても体育館とかグラウンドについては採択されない可能性があるということですか。

○市村律教育部長 今回の湯口中学校についても校舎の改築は前々年度の補正予算で前倒し採択されたのですが、屋内運動場の改築はあくまでも別事業だというのが国の考えでございます。施設が別になれば別の事業ということで、担当課が変わる場合もありますし、柔剣道場になるとスポーツ庁の所管になることもあります。

あとは、全国で老朽化が進んでいる校舎がかなりあることから、残念ながら今般、大迫中学校の改築については補助の採択にはならず単独の事業ですので、次の屋内運動場については補助の採択をいただきたいということです。

全国ベースでいうと文科省では要望に対して半分しか予算がとれなかったという話が平成28年度の予算を組む段階でありましたので、湯口中学校で事業採択された時よりも事業採択の要件が絞り込まれて、今までなかった要件も示されたところです。

○役重眞喜子委員 大迫中学校は校舎が単独の事業ですか。

○市村律教育部長 交付金が入らなかったので起債を充てる事業です。

○役重眞喜子委員 起債って普通の起債ですか。

○市村律教育部長 過疎がとれれば過疎債ですけれども、とれなければ合併特例債です。

○役重眞喜子委員 そうですか。厳しいですね。

○市村律教育部長 要件として、耐力度調査で老朽度を総合的に評価して所要の耐力度に達しない場合とあるのですが、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算の採択にあたっては耐震診断をしなければ、まず組上に載らないという、従前なかったものが突然示されたということがありましたので、それには間に合わなかったということです。

○役重眞喜子委員 体育館もグラウンドも校舎に比べれば優先度が落ちるということかもしれないのですが、田舎では重要な防災施設でもありますよね。体育館は避難所になるし、いざとなれば校庭は仮設を建てなければいけないという時に、全く整備がなされていないということも含めて強力に要望していただきたいと思います。

○市村律教育部長 採択される多くが落下防止です。震災の時に屋内体育館の照明や天井

が落ちて避難所として使えなかったという事例が相当あったので、東日本大震災の教訓を踏まえてそちらの予算は割ととれます。今回も市内の5校で吊り天井を撤去する落下防止の予算はついたので、石鳥谷中学校も西南中学校も付けた吊り天井を撤去しました。いざという時に避難所として使えないことがないようにというのが国の指導ですので、そちらの予算はつきやすい状況です。その分、建替は厳しい状況です。

優先度が高い事業としては、小中一貫校とか、義務教育、あとは特別支援学校の整備があります。

○役重眞喜子委員 県内で大迫中学校レベルの古い校舎がいくつかあると思うのですが、そういう競争も激しかったんですかね。なんで大迫中学校につかなかったんですかね。

○市村律教育部長 端的に言われたのが、「耐震診断していないでしょ」と。

○役重眞喜子委員 するまでもないと思うのですが。

○市村律教育部長 耐力度調査では十分資格があって、今まではそれで要件をクリアしていたのですが、文部科学省の公立学校施設の予算が半分しか取れなかったというのがあって、新たに採択要件というルールが示されたので耐震診断していない場合は対象外となりました。

○役重眞喜子委員 それは後出しじゃんけんですよ。

○市村律教育部長 そういうことがありまして、屋内運動場は当初予算で耐震診断の予算を取りました。そちらは今、耐震診断が終わって、判定委員会の方に進めているところがあります。

国でも大迫中学校の老朽化が大変進んでいる状況は理解しているけれども、全国の学校を並べたときに、採択要件に照らし合わせると、特別にそれを飛び越して採択する対象にはなっていないということです。

○照井善耕委員長 56年の基準は満たしているの。

○市村律教育部長 満たしていないんですけれども、耐震診断をしていなければだめだということです。耐震診断をしていれば俎上に載るという話で、耐震診断をしたうえで、耐震補強でクリアできるのか改築が必要なのか次の判定委員会の作業があるので、そこを経て改築が妥当だという答えが出なければ交付金の対象にしないということです。

○照井善耕委員長 わかりました。他にないですか。それではこの件につきましては終わります。

この他に何かございませんでしょうか。ないということですので、本日の定例会はこれ

をもって閉会いたします。ありがとうございました。